**看護職キャリア支援事業研修　実践評価表**

（日本看護協会版「看護師のクリニカルラダー」レベルⅢ）

**レベルⅢ（定義）：ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する**

**所属施設名：　　　　　　　　　部署名：　　　　　　　　　　氏名：**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **目　　標**  **□ 行動目標（行動目標毎に評価）** | | **評　　価** | | | | | |
| 研修前 | | 中間 | | 最終 | |
| 自己 | 他者 | 自己 | 他者 | 自己 | 他者 |
| 年  / | 年  / | 年  / | 年  / | 年  / | 年  / |
| **ニーズをとらえる力** | **ケアの受け手や状況（場）の特性をふまえたニーズをとらえる**  □ケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から個別性を踏まえ必要な情報収集ができる |  |  |  |  |  |  |
| □得られた情報から優先度の高いニーズをとらえることができる |  |  |  |  |  |  |
| **ケアする力** | **ケアの受け手や状況（場）の特性をふまえた看護を実践する**  □ケアの受け手の個別性に合わせて、適切なケアを実践できる |  |  |  |  |  |  |
| □ケアの受け手の顕在的・潜在的ニーズを察知しケアの方法に工夫ができる |  |  |  |  |  |  |
| □ケアの受け手の個別性をとらえ、看護実践に反映ができる |  |  |  |  |  |  |
| **協働する力** | **ケアの受け手やその関係者、多職種と連携ができる**  □ケアの受け手の個別的なニーズに対応するために、その関係者と協力し合いながら多職種連携を進めていくことができる |  |  |  |  |  |  |
| □ケアの受け手とケアについて意見交換できる |  |  |  |  |  |  |
| □積極的に多職種に働きかけ、協力を求めることができる |  |  |  |  |  |  |
| **意思決定を支える力** | **ケアの受け手や周囲の人々に意思決定に必要な情報提供や場の設定ができる**  □ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に必要な情報を提供できる |  |  |  |  |  |  |
| □ケアの受け手や周囲の人々の意向の違いが理解できる |  |  |  |  |  |  |
| □ケアの受け手や周囲の人々の意向の違いを多職種に代弁できる |  |  |  |  |  |  |
| **評価者サイン** | |  |  |  |  |  |  |

**評価：A:：特によい　　B：良い　　C：普通　　D：:努力を要する　　Ｅ：非常に努力を要する**

**中間評価の実施時期は、部署管理者（看護師長）に一任します。**